

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-Kouhei.org



皆さん、こんにちは。暑い夏も終わり、だんだん秋らしくなってきましたが、いかがお過ごしですか。国会は逆に、これから熱い論戦が始まりそうです。

この原稿を書いている今日は九月十三日。自民党総裁選挙の真っ最中です。安倍さん、谷垣さん、麻生さんの三人が立候補していますが、安倍さんが優勢と言われています。さて、最終的にはどうなるでしょうか。

一方、民主党の代表選挙では、昨日、小沢さんが再選されました。小沢さん VS 安倍さんになるのか、それとも、谷垣さんか麻生さんになるのか。今から党首討論が楽しみです。党首討論でこの国のあり方について、真剣な議論が行われることを期待したいものです。

## この国のあり方

先月号でお伝えしましたとおり、英国の研究機関が発表した世界百七十八カ国の「幸

福度」ランキングによれば、日本は何と九十位。お隣の中国の八十二位よりも「幸福度」が低い国だと認定されてしまいました。

この「幸福度」は、所得水準や、教育、医療、介護、年金などの社会保障制度、住宅環境や治安状態など、様々な項目を比較検討してランキングを決めているそうです。所得水準が高いこと＝「幸福」という単純な考え方ではありません。例えば、カリブ海のバハマなども高い「幸福度」と認定されましたが、所得水準は日本よりずっと低いです。たしかに、所得は少ないより多いほうがありがたいですね。でも、「幸福」の基準は必ずしもお金だけではないという事です。日本人にとって、「幸福」とは何かが問われています。そのことは、この国のあり方とも密接に関連しています。日本という国を、国民が何に「幸福」を感じるような国にしたのか。このことが党首討論の大きなテーマだと思えます。

加えて、本当に日本は所得が高いのかということも確認して見る必要があります。国民負担率(所得に占める税金と社会保障料の割合)が日本の倍以上もある北欧の国々の方が「幸福度」ははるかに高いのです。社会保障制度が充実しているために、老後の生活や病気になった時の不安が小さく、将来に備えた貯蓄負担や病気になった時の自己負担もあまりありません。つまり、実際に自由に使える所得は日本よりかなり高いと考えるべきでしょう。日本は、見かけ上の所得は高くても、実際に自由に使える所得は低い国かもしれません。

こうした点の実情について、小沢さんと新総理の間で、真剣で分かり易く、聞いていて納得のできる論戦が行われることを期待しています。もちろん、僕も国会議員のひとりとして、シッカリと議論させて頂きます。



# 覚王山ゾウ・バウコ

(タイトル文字は書家・山内美風さん<TEL:782-1356>の作品)

—— 覚王山近辺の名店を続々紹介します! ——  
<今回は、お菓子・おもちゃの店「児島屋」さんです>

「児島屋」さんは日泰寺参道入口より 50メートルほど参道西側にあるあります。

昔懐かしい佇まいは、昭和 23 年に先代の児島信次郎さんが開店されてからほとんど変わらないもの。

このお店の名物は何と言っても「お釈迦煎餅」。55年前に日泰寺から「お参りのお土産を考案してはどうか」と提案され、作った由緒正しき一品。名古屋の煎餅専門店「金城製菓」製の煎餅に、日泰寺やお釈迦様の絵が描かれています。この絵は覚王山のイラストレーター・茶畑和也さんの作。お釈迦様の絵は茶畑さんがインドで写生されたものだそうです。

「覚王山の街も変わりつつあるけど、古い町並みの風情も残してゆきたい」とは二代目ご主人の児島忠義さん。古き良き時代を今に伝える児島屋さんにぜひどうぞ。

お菓子・おもちゃの店「児島屋」: 751-3180

